「女性研究者のリーダーシップ研究会」02.26.2007 (愛知大学、車道)

サイエンスコミュニケーションをめぐって 「社会のための科学」の含意するところ

論点

- . サイエンスコミュニケーションの現状; 社会のための科学とは?
- 2 . 誰が、誰に対し、何を、どのような目的と効果を求めて? 科学教育とのかかわり
 3 . 基礎科学と応用科学;研究・データ-論文 開発・技術・もの+効果・安全性

現状

- 1.サイエンスコミュニケーションの現状
- 1)子供のための理科教室;理科離れ、理科嫌いの解消と科学技術立国の目論見
- 2) サイエンスカフェ: 日本学術会議主導、全国 14 都市、2 1 箇所で実施中
- 3) 研究機関、学会のアウトリーチ活動 理化学研究所(神戸 CDB 他)、国立天文台等、日本化学会等 日本科学未来館のような Science Museum の設置
- 4)大学における関連コースの設置 a.科学技術振興調整費による人材育成コース;東大、北大、早稲田大 東大(サイエンスインタープリテーター) 北大(サイエンスコミュニケーター) 早稲田大(サイエンスメディエーター) サイエンスライターも養成 科学をわかりやすく解説する 生命倫理関連、医療関連 三大学とも趣旨はほぼ同じだが、呼称は異なる

b.研究組織(正課科目提供)として大学内に設置 阪大コミュニケーションデザインセンター 京大大学院生命科学研究科 生命文化学講座 御茶ノ水女子大、和歌山大学等

JST 研究者情報発信モデル事業(H.17,12 件、H.18,13 件)東工大大学院の総合科目 JST 社会技術研究センター (RISTEX) 21 世紀の科学技術リテラシー (H.17、6件) 6)大型研究費における研究内容、成果に関するアウトリーチ活動の義務化 科学技術振興調整費のうち、重要課題解決型研究については、経費の3%をアウトリーチ 活動に使用することが義務化

7) 医療におけるインフォームドコンセント、診断、治療に関する医療相談、遺伝子相談等 リスクコミュニケーション、リスクリテラシー活動: 現境や食品安全における行政との連携活動、病院での活動等

2.誰が、誰に対し、何を、どのような目的と効果を求めて? 科学教育とのかかわり

(1)~(6)まで



(7)では・・・ わかりやすい解説、説明責任 市民参加、ステークホルダー参加 リスク管理専門家 リスクコミュニケーション 行政関係者 生産者、製造者、流通業者 リスクリテラシー インフォームドコンセント 一般市民(消費者、患者) 異分野の研究者 診断、治療に関する医療相談 科学の理解、リスクの理解 などなど コミュニケーター ファシリテーター リスク回避の意思決定と行動 インターブリテーター 研究者・科学者自身? ODの准路オブション エキスパートとしての 人材か? 人材育成 大学(東大、北大、早稲田大) RISTEX 研究費

3 . 基礎科学と応用科学

日本では、第三期科学技術基本計画

研究・データ・論文 開発・技術・もの+効果・安全性

研究者、研究機関の多様性と多層性 科学技術と社会技術 市民の「とらえかた」、社会・市民と科学教育